

理論計算機科学は、情報分野全体のなかで古くから盛んに研究がなされてきた分野ですが、近年は実用性を重視した研究も増えてきています。情報通信機器の発達に伴って発生してきた高度で複雑な諸問題を解く鍵として、理論計算機科学の重要性が再認識されつつあります。本小特集は、2003年まで発行されて参りましたLAシンポジウム小特集の後継にあたり、理論計算機科学の最新研究の発表の場として、読者の方、研究者の方よりご好評を頂くうち21回目を迎えるものです。当該分野の研究活動を促進のため、今年度は「計算機科学の基礎理論とその新潮流」をサブテーマとして本小特集（2024年3月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

・計算の理論とモデル

チューリング機械、帰納的関数、書換え系、並列・分散計算、量子計算、分子計算等

・オートマトンと形式言語理論

様々な文法モデル、セルオートマトン、言語・記号処理への応用、符号理論、計算学習理論等

・アルゴリズムとデータ構造

グラフアルゴリズム、組合せ最適化、計算幾何、確率・近似・並列・分散等の各種アルゴリズム

・計算の複雑さの理論

アルゴリズムの計算量、計算可能性、回路計算量、通信計算量等

・理論計算機科学の周辺分野

暗号理論、量子計算、計算論的学習理論等

上記以外にも、理論計算機科学の研究分野に寄与するものであれば広く歓迎します。

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の英文論文と同一とします。

・ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細はInformation for Authors (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)を御参照下さい。

・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

・Webによる電子投稿のみ受け付けます。https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspxより登録を行って下さい。

・初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-FC] Foundations of Computer Science を選択して下さい。[Regular-ED]を決して選択しないで下さい。

・Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, Notices from the IEICE, and Privacy Policy”に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日 2023年4月5日（水）厳守

5. 問合せ先

全 眞嬉

東北大学 大学院情報科学研究科

TEL {022} 795-4739

E-mail : jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp (件名に「IEICE (FCS2023)」とお書き下さい。)

6. 小特集編集委員会

委員長 全 眞嬉（東北大）

副委員長 河内亮周（三重大）、川原 純（京大）

委員 荒木徹也（群馬大）、井 智弘（九工大）、内澤 啓（山形大）、大館陽太（名大）、垣村尚徳（慶大）、河村泰之（愛媛大）、小池 淳（東北大）、鈴木 顕（東北大）、畑埜晃平（九大）、藤芳明生（茨城大）、山中克久（岩手大）、吉仲 亮（東北大）、和佐洋洋（法政大）、Sang Won Bae (Kyonggi Univ.)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての著者は、論文が採録となった場合、2023年11月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2023年12月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- * 投稿者に非会員が含まれている場合には、この機会に入会することを勧めます。著者全員が非会員の場合、非会員掲載料が適用されます。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。
入会の案内はこちらを御覧下さい。 https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html
- * オープンアクセス：2008年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dの論文は、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開されています。 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf>